



横芝R.C. 会長テーマ
小さな親切

思いやり

創立 昭和41年10月6日
承認 昭和41年11月21日
例会日時 毎週木曜 12:30点鐘
(最終例会 18:30点鐘)
例会場 中国ダイニング富士屋
事務局 〒289-1732
千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178
URL <http://www.yokoshiba-rc.jp>
E-mail info@yokoshiba-rc.jp

第2790地区ガバナー 崎山 征雄 第6分区ガバナー補佐 進藤 義男

平成20年8月7日発行 NO.1859 第1986例会 会長 富 一美 会報担当 伊藤 元雄



例会報告 (平成20年8月7日)

会長挨拶

(副会長 鈴木恭一)

点 鐘 副会長 鈴木恭一
ソ ン グ 「君が代」
「奉仕の理想」
唱 和 「四つのテスト」
会 長 挨 拶 副会長 鈴木恭一
会 務 報 告 副会長 鈴木恭一
幹 事 報 告 幹 事 小林定雄
プ ロ グ ラ ム 委員会報告



本日は、富会長が所用で欠席ですので、代理で会長挨拶を読ませていただきます。

みなさんこんにちは。本当にお暑うございます。本日は8月に入りましての第一例会でございます。

皆さんご存知の通り、いよいよ北京オリンピックが明日8日(金)よりはじまります。中国も一方では四川大地震で今も大勢の悲惨な行方不明者がいる中、お祭りムードも複雑な心境ではないでしょうか。

また、テロの噂もちらほらと聞かれておりますが、オリンピックは世界205ヶ国が参加する4年に一度のスポーツの祭典です。何事もなく成功裏に終わることを願うものであります。

私は、12日から3日間仕事で中国に行きますので、機会があれば帰ってきてから状況を皆さんへご報告したいと思います。

そして、8月は会員増強月間でございます。会員増強に困んだお話を少しだけさせていただきます。

前年度(齋藤年度)に42名で引き継ぎまして、現在は46名で推移を致しております。申し上げるまでもなく、会員増強はクラブを活性化させ維持するためには、必要不可欠なことは、皆さんご存知の通りです。

前回の例会での私の地区クラブ奉仕合同セミナーの報告の中で、R Iの服部コーディネーターより、「会員増強はしても会員増弱はするなよ」と言われたお話しをさせていただきましたが、本当にこれは大事なことだと認識を新たにしました。

じつはその時、ある事が頭の中をよぎりました。それは、白鳥パストガバナーが2年間のガバ

8月の誕生 結婚記念祝

「誕生祝」

杉森幹男会員 森川忠会員
古西弘和会員 市原豊彦会員
野島暉通会員



「乾杯」

第41代会長 内田裕雄



ナー在籍を振り返って、最終のガバナー日記で述べていることの中に、次の記述がございました。読ませていただきます。

白鳥パストガバナー曰く

『最近思うことは、ロータリーは多様性とか自主性を重んじることがいわれているが、これはあくまでもロータリーの基本的な原理・原則をわきまえている人に対して言えることではないかと思う。ロータリーの原則から逸脱して、ロータリーの理念を全く考慮しない世俗の考え（当該者独自の考え）をそのままクラブ運営に適用していることからクラブに乱れが出てくるのが散見される。本来人間関係に平等（対等）であることにロータリーの素晴らしさがあるのに、それを破壊するがごとき心ない人の傍若無人な振舞いによってクラブが精気を失い、良質のロータリアンが退会していく様は真に残念であり、由々しき事態である。』

基本的なロータリー情報を知り、ロータリーを人生の心の糧にすることだ。ロータリーは出した結論より結論を得る過程（プロセス）が大事であり、その課程には、多岐に亘り学ぶことや親睦を育む機会が沢山ある。きちんとした過程を経ることが品位ある人格を形成し、価値ある親睦を醸成していく。それにはロータリーの歴史を知り、ロータリーの定款細則を手抜きせず、かたくなに遵守する気構えがなければならない。』

以上が、白鳥パストガバナーのガバナー日記の中に書かれておりました一節でございます。

この記述の中にもある様に、私自身も会長として知らず知らずの間にロータリーの原則から逸脱して、ロータリーの理念からずれた私独自の考えをそのままクラブ運営に適用して、クラブの乱れのもとを作ってしまったかわないか？

又、新しい会員にロータリーの理念を正しくお伝えできているのか？

それらのチェックのためにも、3か月に一度CLP委員会を開き、PDCAを繰り返し、改めるべきところは改めていこうと考えておりますので、会員のみなさんからもしどし忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

加えまして、ガバナー月信2月号に崎山ガバナーのご挨拶の中で、今回のクラブ合同公式訪問の目的は「リソースの共有化」とありました。

リソースとは、情報資源でありまして情報資源の共有化となります。

これは崎山ガバナーが今年度から考えた手法でありまして、グループ内で情報交換をするための電子メールの利用方法の一つでありまして。参加者全員を特定のメールアドレスに登録することにより、そのアドレスに届いたメールを参加者全員に送付するシステムです。これにより、クラブエネルギーを高めて、新たな活力で真の増強を達成させようと言うのが狙いだと思います。

以上のようなことを踏まえまして、会員増強はしても会員増弱にならないようR情報さんと力をあわせて会員強化をしていきたいと思っております。

■ 幹事報告



①ご案内が届いております。

・ロータリー米山記念奨学会委員長会議

8/30（土）登録 13：30

会議 14：00～16：30

基調講演 ・米山月間について

・その他

開催場所 ペリエホール（千葉駅ビル）

・第1回会長幹事会

8/29（金）18：00 会場：大和屋旅館

②活動計画書受領クラブ

・八日市場R.C.

■ 委員会報告

◆ 奉仕プロジェクト委員会

委員長 菅井 直秀



「地元の地域社会におけるニーズに応える教育的・人道的・職業的プロジェクトを企画し、実施するもの」

ロータリーは人間を育てる場であり、思いやりと寛容の精神で品格あるクラブを創ろうと努力しています。

ロータリーは人生の価値を他人への奉仕に置き、そこに生きがいを感じる心を人々の中に植えつけて育てることで金持ちでなくとも、社会的有力者でなくとも、一定の地域社会において奉仕の精神を体して行動をとれる人であれば良い。

ロータリーとは「人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道德水準を守る事を奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを旨とした事業及び専門職務に携わる者が世界的に結び合った団体」です。

《事業計画》

◎職業奉仕

- ・地域の安全と安心を目指して、AED活用推進会員の研修（例会）と行政への働きかけ
- ・研修のためにテリトリー内企業への視察

◎社会奉仕

- ・地域の現状や問題点を学習するために、官公庁や主な企業の方を、例会講師として依頼（講演内容や問題点を記録に残し、今後の活動資料とする）
- ・テリトリー内（山武市、横芝光町、芝山町）の観光都市としての発展のために、琴平神社、芝山仁王尊、勝覚寺（四天様）、広済寺（鬼来迎）への協力
- ・空港南側隣接自治体としての発展のために、成田空港完全化への協力
- ・新世代育成として、少年野球大会、少年剣道大会への冠スポンサーとして協力
- ・栗山川水保全啓蒙運動の実施
- ・海岸清掃の実施
- ・ライラ事業への働きかけと協力

◎国際奉仕

- ・災害など世界の出来事を敏感に察知し、その支援を図る
 - ・国際青少年交換
 - ・WCS（世界社会奉仕）への協力
- 全員で行って初めて成果がでるものです。皆さんの力を貸して頂きますようよろしくお願い致します。

◆ 観戦ツアー実行委員会

担当 古西 弘和

・9月13日（土）マリンスタジアムにて、横芝ロータリークラブで少年野球チームを招待し、青少年の育成を主に野球観戦を計画しております。会員の皆様も是非協力して参加をお願い致します。詳しいことは後日FAXにてお知らせいたします。

■ ニコニコボックス

麴島 …（夫人の二矩子さんが第25回読売書法展に入選したので）

井野敬一君 …（山武市消防団操法全国大会出場を祈念して）

菅佐原盛治君…（R情報勉強会を欠席したので）

森川忠君 …（お祭りが無事終わりました、誕生祝を頂いた）

菅井直秀君 …（向後会員と仲直りしました）

河野和夫君 …（長男が東京理科大で博士号を取得しました）

野島暉通君・古西弘和君・杉森幹男君
…（誕生祝を頂きました）
…（誕生祝を頂きました）

伊藤元雄君 …（お祭りが無事終わりました）

齋藤逸朗君 …（主催映画に400人が来てくれました）

内田裕雄君 …（暑いので体に気をつけましょう）

本日計	21,000円
累計	160,211円

■ 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
8月7日	46	34	12	100.0

☆ 欠席をしたらメーカーアツプをしましょう ☆



ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある：

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること；
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてがその個人生活，事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた，事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。